

## 操業上の課題と処理能力向上に向けた取組状況について

平成23年12月に開催された「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」において、当社のトランス・コンデンサ処理施設における操業上の課題と処理能力向上に向けた取組状況（別紙）を報告しましたが、本年度も各事業所で処理能力向上のための施設改修等を実施しており、成果をあげています。

### ○ 今年度実施した主な改修内容

事業所	目的	工程	対象設備	改善内容
北九州	能力向上	付帯設備	アルカリ蒸留設備	配管の閉塞時に行うアルカリ洗浄により発生する廃アルカリ水の貯留槽に、油分とアルカリ分の境界面がわかる界面計を設置し、廃アルカリ蒸留塔にアルカリ水のみ送液されるようにして、蒸留性能を向上させた。
	能力向上	(前処理)真空加熱分離	真空加熱分離設備	炉内のヒーターの一部を撤去し、スペースファクターを向上させて、1バッチあたりの処理台数を増加させた。
豊田	能力向上	(前処理)解体	小型トランス解体設備	処理が進んでいる小型トランス処理ラインを改造し、車載トランス用ラジエーターとドラム缶処理を可能とした。年間ラジエーター及びドラム缶の処理がそれぞれ40台増加の見込み。
	能力向上	(前処理)洗浄	洗浄設備の周辺機器	洗浄する含浸物の処理促進のため破碎工程を追加したところ効果が確認できたので、後段の素子供給機の供給能力を向上させた。
東京	能力向上	液処理	水熱分解設備の周辺機器	スラリー供給ラインの2系列並列化により処理能力を向上させた。年間144台処理増の見込み。
	能力向上	(前処理)洗浄	洗浄液の蒸留設備	蒸留塔制御方式ソフト変更により、IPA蒸留塔の能力を20%程度向上の見込み。
大阪	安定操業	(前処理)蒸留	PCB/T CB蒸留設備	蒸留過程で発生する塩酸による腐食対策のため機器、管類の材質を変更し安定操業を継続している。また腐食成分を含む凝縮液を回収できるよう中間ポットを設置した。
	作業環境改善、能力向上	(前処理)解体	換気空調設備	解体室内の作業環境対策として冷氣送風ダクトの保冷材を更新し、室温低下をはかり、作業効率の向上をはかった。対前年度3℃程度低下した。
北海道	能力向上	(前処理)解体	大型トランス解体設備	大型トランス解体ラインに中型切断機を増設し、処理能力を強化した。大型トランス等の処理が0.5台/月増加の見込み。
	能力向上	(前処理)解体	オンラインモニタリング装置	トランス処理促進のため、小型トランス解体エリアに入室してトランス固定作業を行うこととし、オンラインモニタリング装置による作業環境管理を行えるようサンプリング導管を改造した。